

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で93,000cells/ml、シャットネラ属が最高で850cells/ml確認されました。

カレニア・ミキモイとシャットネラ属は、全ての観測点で被害が想定される細胞密度になっています。

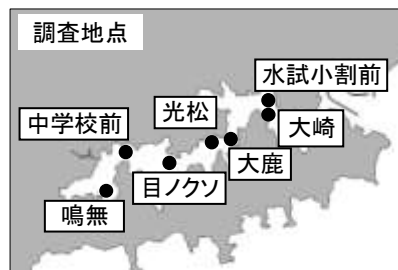
湾内は全体的に濃く呈色しており、今回の観測点以外にもカレニア・ミキモイの極めて濃密な水塊が多く存在しています。

餌止めを行うなど、慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		カレニア・ミキモイ	シャットネラ属	珪藻類
中学校前	0m	10,800	350	550
	2m	950	150	200
	5m	220	260	100
目ノクソ	0m	12,500	850	125
	2m	330	37	75
	5m	120	20	75
光松	0m	4,300	200	100
	2m	280	6	50
	5m	100	8	150
大鹿	0m	1,480	100	150
	2m	1,800	60	50
	5m	160	5	25
水試小割前	0m	67,000	270	250
	2m	6,900	70	150
	5m	840	8	50
鳴無	0m	710	10	
	2m	670	540	
	5m	240	140	
中学校前(北)	0m	3,100	150	
大崎	0m	93,000	200	



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ:
数百～数千cells/ml (魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属:
10～100cells/ml (魚類のへい死)